

診療所長 今月の二句

平成二十九年六月

どくだみき 刈るなど言いし 母惚ぶ

どくだみが生い茂る、六月。子どもの頃、踏みつぶすと、麥なにおいがするどくだみが嫌いで、鎌で刈り取っていたら、「どくだみは、薬草として利用することもあるので、刈り取ってはダメだ。」と、母に言われたことがあります。六月、奇遇にも、自らの誕生日に亡くなった母を、どくだみを見るたび、思い出します。

じゅうじばな

恥じらいて 陽に当たりたる 十字花

どくだみの花は、白く、可憐で、十字花とも呼ばれます。隠花植物である、どくだみの花に、陽が当たっていました。なんだか、花が恥ずかしそうに咲いているように、私には見えませんでした。